

江東区 きゅうおおいしけじゅうたく 旧大石家住宅



古民家情報

建築年代：江戸時代後期
規模：桁行 5.5 間・梁間 3.5 間
構造：整形四間取り
寄棟造り・茅葺き
江東区指定有形文化財(建造物)

19 世紀半ば以前に建てられたと推定される、江東区内最古の民家建築です。大石家は、農業と漁業を行う半農半漁の暮らしをしており、大正 7・8 年頃からは海苔^{のり}の養殖^{ようしょく}を始めました。もとは東砂 8 丁目^{ひがしすな}に建てられていましたが、平成 8 年に現在地（南砂 5-24 地先^{みなみすな}）に移築復元されました。

度重なる水害^{たびかさ}に対する工夫^{くふう}として屋根裏^{しんすい}が広く作られ、浸水時には屋根裏に避難^{ひなん}し、水が退くまでの間そこで生活できるようになっています。

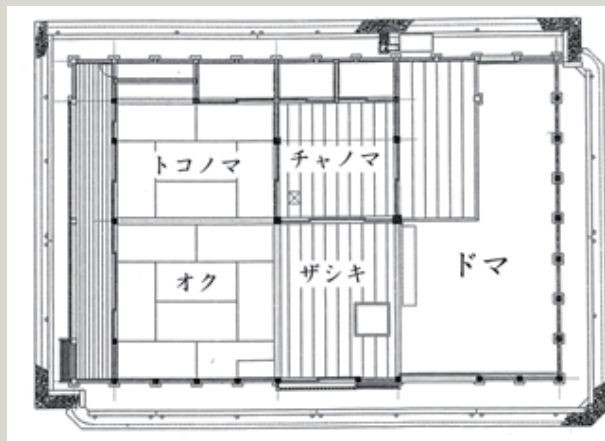
屋根は茅葺^{かやぶき}です。移築から 20 年が経過し屋根表面の一部が傷んでいたため、平成 29 年 1～3 月、部分的に新しい茅に取り替えしました。

ご利用案内・アクセス

- 開** 10:00～16:00（月曜日から金曜日休館、祝日の場合は開館） **料** なし
所 江東区南砂 5-24 地先 仙台堀川公園内
交 地下鉄東西線「南砂町」駅下車徒歩 15 分、都営新宿線「東大島」駅から都バス（門前仲町行）「東砂四丁目」下車徒歩 5 分
問 江東区地域振興部文化観光課文化財係 Tel.03-3647-9819 Fax.03-3647-8470

その1! 間取り

見どころポイント!



土間部分と床をはった部分に分かれます。床部分は、6 畳と 8 畳の畳敷きの座敷と、6 畳と 4 畳半の広さの板の間、計 4 室からなる田の字型の間取りです。

その2! 屋根裏



屋根裏の様子
※屋根裏の見学はできません

その3! 茅葺屋根



平成29年の葺替え工事の様子